

## 平成27年度 第2回苫小牧市女性センター運営委員会会議録（概要）

- 1 日 時 平成27年9月17日（木）13：30～15：00
- 2 場 所 女性センター4階 講習室A
- 3 出席者 運営委員7名（欠席者 4名）  
市民生活部（部長、次長、男女平等参画課長、主事1名、嘱託事務員1名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 記 者 苫小牧民報社（1名）

### 6 議事概要

（議題1） 女性センターの機能見直しについて

#### 意 見

- 機能の見直しについては賛成です。これまで、男性向けの講座は料理しかなかったように思いますが、「男女平等」として機能を見直すのであれば、今後は男性向けの講座を増やしていくことも検討していただきたいと思います。
- 今現在、女性センターという名称のために男性が利用しづらいという意見もあるが、講座の先生が男性という場合もあり、特に男性が入りにくいという風には思えません。それよりも、市民活動センターという名称と位置づけははっきりしているが、その中にある女性センターの位置づけは、曖昧でわかりにくいように思います。
- 今までの条例より、男女平等が明確になってわかりやすいので、機能見直しはいいことだと思います。
- 横断的に一つの受け皿になるような存在の施設になればいいと思います。敷居を低くして、ここへ来たら、老若男女関係無く誰でも話しやすく、一緒に活動をしていこうという気持ちになるような一つの存在になればいいと思います。  
また、現行の条例-別表1の2については、職業生活及び、家庭生活、地域生活についての相談及び指導に関することというふうにつけ加えたら、男女ともに当てはまるのではないかと思います。

#### 主な質疑

##### <質 問>

事業実態などを見たら、それぞれ役割があり、それはそれですばらしいと思いますが、果たしてそれだけのことをきちんと推進して、発展させていけるのかとても疑問に思います。具体的に条例が変わったとき、運用面などで役所との関係はどのような位置

づけになるのでしょうか。実際に、普段からサークルなどでセンターを利用している者として、これだけの文言を盛り込んだとき、具体的な運用として役所はどこまで担ってくれるのが気になります。

<回 答>

事業実態にあります男女平等の推進事業というのは、もうすでに実施されている事業ということで記載しております。現状の事業や貸館は行っていることなので、内容的には、これをさらに男女平等参画社会の推進のため、市全体としても押し進めていかなければならないところです。課の業務も含めて、具体的に何をするか、体制的にどうするかといった事はこれからの事になりますが、例えばセンター事業について、皆様から意見があればそれを踏まえた上で、考えていくという事になるかと思えます。

<質 問>

実際の流れとして、これからもこういう意見を聞く機会があるということですか。

<回 答>

この委員会については、今回皆様からお聴きして、その後、男女平等参画審議会でも同じようにお諮りした上で、パブリックコメントを通して市民の皆様から御意見を問うような形になると思えます。

<質 問>

市内の各コミセンや、アイビープラザでやっているサークル等と、女性センターでやっているサークルや講座には、同じようなものがたくさんあるように思います。例えば、料理講座などはいろいろなものがあるが、それぞれの違いはあるのでしょうか。女性センターということで、今までは女性向けが多かったけれど、実際に機能が変わることによって、男女平等を意識したような、内容の違いを打ち出していくといった考えはあるのでしょうか。

<回 答>

コミセンでやっているサークル等は、その地域にお住まいの方々が、核となるコミュニティセンターに集まって、共通で取組めるようなサークル活動をするという、地域交流を目的とした位置づけになっています。また、アイビープラザは、たとえば高齢者向けの長生大学といったような、社会教育的な目的を持った学習活動の位置づけになります。そこで、今後、講座やサークルの色分けをどのようにするのかというお話についてですが、これまでと内容は同じでも、男女平等参画というテーマの持ち方が重要になってくるのではないかと思います。テーマを意識して参加できるよう、男性は女性を、女性は男性を、それぞれの立場から理解することを目的にした事業を組み立てていかなければならないと考えます。

<質 問>

施設利用の中で、女性活動への貸館についてお聞きします。現在、推進協さんと婦連協さん、2つの団体へ貸館を行っているようですが、婦連協さんはどういった活動をされているのでしょうか。推進協さんは、男女平等参画に関する活動をされて

いることを新聞等でもよく目にしますが、婦連協さんの活動はあまりよくわからないのですが。

<回 答>

婦連協さんについては歴史が古く、婦人ホーム時代から活動されている団体です。手元に資料が無いので正確ではないのですが、昭和55、6年頃から、おもちゃライブラリーということで、障害児のために玩具を集めて貸し出しをするという活動を長年に渡って行っています。婦連協さんというのは全国的にある組織ですが、その中には、青少年の健全育成や男女平等参画の推進といったことも謳われており、教育委員会所管の団体なので、古くから女性教育にも力を入れた活動をしています。

(議題2) 施設名称について

意見

- 男女同じ立場ということで平等という言葉を入れた「男女平等参画センター」がいいのではないかと思います。
- あえて平等と謳うことで、現状が不平等だと強調されているようで、昭和の虐げられていた弱い女性の目線で見ているような感じがします。では、弱い男性から見たときは、なぜ女性ばかり優遇されるのかと考えるのではないのでしょうか。父子家庭の男性の子育てなど、男性も後押しするような名称変更でなければならぬと思うし、長い目で見たときに、平等、共同とこだわるのは怖いような気がします。女性は優遇されていると見ている男性も少なからずいると思うので、私はあえて「男女参画センター」がいいと思います。
- 名称が長いと覚えにくく浸透しないと思うので、たとえば、「ふれあいセンター」などのわかりやすい表現がいいのではないかと思います。
- 男性と女性が協力して共に助け合っていくようなイメージで、平等より共同という言葉を入れた「男女共同参画センター」がいいと思います。
- セクシャルマイノリティーの人たちのことも考えると、男女と括らずに誰もが平等にというイメージのある抽象的な名称を考えることも大事だと思います。

### (議題3) 施設愛称について

#### 意見

- 市民活動センターに愛称があるので、ひとつの建物に二つ名前がつくのは紛らわしいのでどうかと思います。
- 愛称があったほうがよいと思いますが、現在すでに愛称があるのに増やす必要はないように思います。
- わかりやすい名称がつくのであれば、愛称はいらないと思います。
- 文化交流センターのようにアイビーという愛称のほうが有名な場合もあるが、市民活動センターをふれあい3・3ということは、それほど市民に周知されていないように思います。愛称を広めるより正式名称を広めるほうがよいと思います。
- 正式名称を使わず、「ココトマ」のように愛称を広めてほしいという場合もあるが、愛称と正式名称の二つを使うことはやはり紛らわしいと思うので、愛称はいらないと思います。

### (議題4) その他

- 女性センター運営委員会について（事務局より説明）

現在、女性センター運営委員会は、市民活動センター条例の規定に基づいて設置しております。そこで今後、女性センターを男女平等参画を推進する施設ということに機能変更した場合についてお話をさせていただきたいと思います。

市が男女平等参画を推進するための基本的施策として、男女平等参画推進条例があり、その第19条に苫小牧市男女平等参画審議会について書かれてあります。この審議会が、苫小牧市の男女平等参画の推進に関して、様々な御意見をいただく場として設けられていることから、この施設について条例改正があった場合、運営委員会と重複するのではないかと事務局としては考えております。

今後については、これからまだ検討を重ねていくところですが、運営委員会については、廃止、または統合の方向にするか、あるいは機能を変えて存続するのかといったところを協議していかなければなりません。

今後、この件に関しては女性センターの機能見直しも含めて、審議会にもお諮りした上で、今年度、次期は未定ですが、運営委員会の皆様にお集まりいただくことになるかと思いますが、よろしく願いいたします。